

九州栄養福祉大学 更新確認申請における実務家教員シラバス

1. 食物栄養学部 食物栄養学科

授 業 科 目 名	食と経済		
担 当 者 名	高森 俊明	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1000005	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修	選択
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	食は、私たちが営む経済活動によって支えられているが、中国武漢市で発生した新型コロナウイルスの世界中感染拡大によって、私たちの生活に不可欠な食を支える経済システムは、パラダイムシフト的の変革を余儀なくされている。この講義では、地方自治体および独立行政法人で、産官学連携、一次産品（水産物）による地域経済振興などの職務経験を有する教員が、急激に進行するコロナ後の変化を踏まえて、食をめぐる様々な現象とその背景について、私たちの生活に身近な事例を紹介しながら、経済視点から読み解くことで、経済学的な思考を身に付けていく。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) 経済学の基礎知識を習得し、生活に活かすことができる。 2) 現代の食をめぐる様々な事象とその背景について理解し、説明することができる。 3) 日本型食生活（和食）の成立過程を理解する。		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	オリエンテーション：この講義の目的と講義内容の紹介。学習方法、受講上の注意、成績評価方法、公欠に関する取扱い、授業ノート・キーワードノートの作成方法、論文・レポートの書き方についての説明。	事前：なし 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）	
2.	食とは何か コロナ後のフードビジネスの変化	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）	
3.	経済とは何か	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）	
4.	食品の価格決定メカニズム	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）	
5.	会社の成り立ち	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）	
6.	食と消費者行動 AIDMA から ULSSAS へ	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）	
7.	消費者が非合理的な判断をしてしまう理由	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）	
8.	意思決定を操るバイアスの仕組み	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）	

9.	心の家計簿 お金で苦労しないために	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
10.	ゆるキャラ、AKBブームの背景	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
11.	食と環境 フードロス解消への道	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
12.	全人類の共通目標「SDGs」を学ぶ	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
13.	経済の視点でみる食の日本史（1） 縄文時代～鎌倉時代	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
14.	経済の視点でみる食の日本史（2） 室町時代～江戸時代	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
15.	経済の視点でみる食の日本史（3） 明治維新～現代	事前：授業ノートの復習、自分で調べた内容を授業ノートへ追記する（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）

準備学習・事後学習等についての補足説明

・「授業ノート」及び「キーワードノート」については、対面講義かリモート講義かによってスタイルを決定するので講義開始後に別途指示する。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験（課題レポート）	キーワードノートの完成度	授業への取り組み姿勢	
40%	20%	40%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しない		

参考書又は参考資料等

講義の進捗に応じて適宜参考資料等を紹介する。講義時に参考資料等を配布する場合がある。

その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

- ・講義中の私語やスマホ使用は、グループディスカッション等で認めた場合を除き、厳禁とし、減点対象とする。注意しても改善されない場合は、他の受講生への影響を鑑みて退室を申し渡す場合がある（対面講義のみ）。
- ・授業中の居眠りや著しく意欲に欠ける受講態度は減点対象とする（対面講義のみ）。
- ・公欠事由に該当する場合を除き、30分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする（対面・リモート共通）。
- ・対面講義の場合は定期試験を実施するがリモート講義の場合は課題レポートを定期試験の代替とする。

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他
	講義の前後および講義中は教室又は非常勤講師室にて随時質問対応可。（リモート講義の場合はチャットによる質問で代替）

授 業 科 目 名	健康管理概論		
担 当 者 名	寶珠山 務	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1100018	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修	管理栄養士必修
ナンバリング	DP1-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>少子高齢化社会において人々の保健福祉領域への関心はさらに高まっている。管理栄養士に求められる健康管理の基礎として、本講では、がん、生活習慣病、感染症、メンタルヘルス等の主要な疾病の概要とその対処、健康の評価と開発の具体的方法、信頼性の高い文献や統計情報の活用、疫学研究の概要などを解説する。各項目に関連した国家試験問題も紹介したい。</p> <p>担当者は内科一般の臨床実務に携わって10年以上になるが、急性期から慢性期における対応、医療と介護の境界領域での対応などを通して、医療技術の向上と高齢化の急進を時代背景に、複数の専門職からなるチーム編成とその活用が求められていることを強く実感した。本講義では、教科書やウェブ情報を分かりやすく解説するとともに、行間に込められた史実や本質にも触れることで、学生諸君の知的関心をさらに掻き立てられたら幸いと考える。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>健康の増進を図るために必要な基本的知識を理解する。また、管理栄養士は傷病者に対する栄養管理・栄養指導の専門家として医療現場において果たし得る役割が大きくなっていることから、代表的な生活習慣病についてはその病態の基礎を正しく理解することを目指す。</p>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1. 健康の概念	事前：テキスト第1章の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		
2. 健康の現状：①人口、平均寿命と健康寿命、出生の状況	事前：テキスト第2章1～3の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		
3. 健康の現状：②死亡の状況	事前：テキスト第2章4～5の通読、概要把握（60分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（60分）		
4. 健康に影響する生活要因：①生活習慣要因と生活習慣病	事前：テキスト第3章1の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		
5. 健康に影響する生活要因：②栄養・食生活、身体活動・運動	事前：テキスト第3章2～3の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		
6. 健康に影響する生活要因：③休養・ストレス、喫煙・飲酒	事前：テキスト第3章4～5の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		
7. 健康を阻害する疾病とその予防：①疾病予防の3段階	事前：テキスト第4章1の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		
8. 健康を阻害する疾病とその予防：②生活習慣病の予防、感染症の予防	事前：テキスト第4章2～3の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		
9. 健康づくりの施策：①国民健康づくり運動	事前：テキスト第5章1の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		
10. 健康づくりの施策：②健康づくりの法的対応、組織と従事者	事前：テキスト第5章2～3の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		
11. 健康管理の進め方：①健康管理の考え方と方法	事前：テキスト第6章1～2の通読、概要把握（60分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（60分）		
12. 健康管理の進め方：②健康教育、健康相談	事前：テキスト第6章3～4の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）		

13.	健康管理の進め方：③健康診査・スクリーニング、健康管理の実際、国際保健	事前：テキスト第6章5～6の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）
14.	Evidence-based medicine (EBM) に基づく健康管理	事前：テキスト第7章の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）
15.	健康情報	事前：テキスト第8章の通読、概要把握（90分） 事後：参考書の該当箇所の確認と自主学習（90分）
準備学習・事後学習等についての補足説明		
事前学習として、テキストの授業内容に該当する部分を予め読んでおく。事後学習として、テキスト参考書の該当部分の再確認とともに、自主的に Web サイト情報等を利用して理解を深めることが望ましい。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕		
定期試験	中間評価（レポート）	
80%	20%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
N ブックス 改訂 健康管理論	苫米地孝之助 監修	建帛社
参考書又は参考資料等		
参考書：国民衛生の動向 2020/2021（厚生指針 2020 年増刊）厚生労働統計協会 参考資料：「健康日本 21（第二次）の普及啓発用資料」（下記サイトの中ほどにリンクあり） URL： https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21.html		
その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕		
栄養管理・栄養指導の専門家として健康管理の基礎を理解することが重要であり、またその理解が栄養に携わる専門家への第一歩であることを意識して学習してもらいたい。		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
	講義終了後の質問等対応可。	

授 業 科 目 名	応用栄養学 I		
担 当 者 名	池本 美智子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1100045	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修	必修 栄養士必修 管理栄養士必修 食品衛生管理者・監視員必修
ナンバリング	DP1-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	栄養アセスメントが出来ることは栄養管理の基本となる。栄養アセスメントの意義・目的を理解し、健常者における栄養アセスメントの第 1 歩として食事摂取基準を学ぶ。これをふまえてのライフステージ別の栄養管理の理解となる。この講義では、国立機構病院での管理栄養士経験を有する教員が、母体、及び胎児期から成長期までの各ライフステージ（妊娠期・授乳期、乳児期、幼児期、学童期）における成長、発達に伴う生理機能の変化や栄養状態の変化などについて講義し、教室内での討議を組み込みながら学びを深めていく。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) 栄養アセスメントについて理解し、アセスメント技術の基本的知識を習得できる。 2) 日本人の食事摂取基準について理解し、活用できるようになる。 3) 生理・生化学、基礎栄養学を基礎とした成長期までの各ライフステージにおける栄養状態や心身機能の特徴に基づいた栄養管理についての理解を深め、説明できるようになる。		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	オリエンテーション：この講義の目的と講義内容の紹介。学習方法についての説明。	事前：掲示または UNIPA にて通知する内容について通読しておくこと(90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたノートを作成すること(90分)	
2.	栄養ケアマネジメント(1)：栄養ケアプロセスの概念	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたノートを作成すること(90分)	
3.	栄養ケアマネジメント(2)：栄養アセスメントの意義と目的 栄養ケアマネジメントについて小グループでの討議・発表を行う。	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した範囲のまとめを行い、ノート整理をすること(90分)	
4.	日本人の食事摂取基準(1)：食事摂取基準の意義、策定の基礎理論	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたノートを作成すること(90分)	
5.	日本人の食事摂取基準(2)：エネルギー・栄養素別食事摂取基準	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した範囲のまとめを行い、ノート整理をすること(90分)	
6.	妊娠期・授乳期(1)：妊娠期・授乳期の特性	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたノートを作成すること(90分)	
7.	妊娠期・授乳期(2)：栄養アセスメントと栄養ケア 食事摂取基準を踏まえ、妊娠・授乳期の栄養ケアマネジメントについて、小グループでの討議を行う。	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した範囲のまとめを行い、ノート整理をすること(90分)	
8.	新生児期・乳児期(1)：新生児の特性と栄養	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたノートを作成すること(90分)	
9.	新生児期・乳児期(2)：乳児期の特性と栄養	事前：テキスト指定範囲（掲示または UNIPA にて通知）を通読しておくこと(90分)事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたノートを作成すること(90分)	

10.	新生児期・乳児期(3)：栄養アセスメントと栄養ケア	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した範囲のまとめを行い、ノート整理をすること(90分)
11.	成長期・小児の特性と食事摂取基準	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたノートを作成すること(90分)
12.	幼児期(1)：幼児期の食生活；咀嚼能力の発達と食事	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたノートを作成すること(90分)
13.	幼児期(2)：栄養アセスメントと栄養ケア 食事摂取基準を踏まえ、乳幼児期の栄養ケアマネジメントについて、小グループでの討議・発表を行う。	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたノートを作成すること(90分)
14.	学童期(1)：学童期の食生活；咀嚼能力の発達と食事	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した範囲のまとめを行い、ノート整理をすること(90分)
15.	学童期(2)：栄養アセスメントと栄養	事前：テキスト指定範囲（授業終了時に通知）を通読しておくこと(90分) 事後：指定した範囲のまとめを行い、ノート整理をすること(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・「事後学習」については、紙ベースで作成するものの、必ずしも1冊のノートでなくてもよい。ただし、毎回のものが紛失しないように累積してまとめておくこと。
- ・「事後学習」のノートは、第8回、および第14回の講義後に提出を求める（第15回の講義時に返却する）。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取り組み・小テスト	「事後学習」ノートの完成度	
75%	15%	10%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
四訂 応用栄養学〔第2版〕	江澤 郁子、津田 博子	建帛社
日本人の食事摂取基準〔2020年版〕	伊藤 貞嘉、佐々木 敏	第一出版

参考書又は参考資料等

その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

- ・「事後学習」ノートの作成を課します。成績評価に関わるものなので、真剣に取り組んでください。
- ・単元ごとに、授業習得状況確認（小テスト形式）を行います。これはフィードバック資料として、定期試験に向けた学習にも活用できます。
- ・講義中の私語、スマホ使用は厳禁です。授業中の居眠りも含め、授業への取り組み姿勢として評価の対象とします。

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他

授 業 科 目 名	栄養教育論 I		
担 当 者 名	渡辺 響子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1100049	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修	必修 栄養士必修 管理栄養士必修 食品衛生管理者・監視員必修
ナンバリング	DP1-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>栄養教育は、管理栄養士・栄養士にとって専門性を発揮して行なう業務そのものである。管理栄養士としての使命感、職業観を育み、健康の維持・増進ならびに傷病者の治療を目的とする食生活の指導ができるように、栄養教育に必要な基礎的知識と技能について、実際に即して学習する。</p> <p>また現代社会の食環境を踏まえ、必要とされている栄養教育の課題を理解し、栄養教育計画の立案ができることを目的とし、その実践が栄養教育論実習において展開できるよう連携していく。</p> <p>この講義では、病院や行政栄養士としての職務経験を有する教員が、実際の市民への栄養教育について紹介し、実践に活かせる方法について学習する。</p> <p>授業は、教科書をもとに構成し、さまざまな資料を加筆し、スライドを用いてわかりやすく説明、解説をして進めていく。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育の意義と特性および現在必要とされている栄養教育の課題について理解し、説明できる。 2. 栄養改善活動の歴史と現状について学習し、制度、法規について理解を深める。 3. わが国の栄養摂取状況を把握し、栄養素等摂取不足、摂取過剰による問題点と解決策を具体的に説明できる。 4. 問題解決のための栄養マネジメントを理解し、栄養教育計画を立案することができる。 6. 問題解決のための情報収集の方法及び適切な学習方法を活用することができる。 7. 栄養教育の評価の方法を理解し、それぞれの評価を行い、目的評価と技術評価ができる。 <p>これらの学習を通して、栄養教育の方法と技術の基本を理解し、管理栄養士として行動できる態度を養う。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習 等) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1.	栄養教育の概念 1 栄養教育の目的・目標	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
2.	栄養教育の概念 2 栄養教育の機会と対象	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
3.	栄養教育の概念 3 栄養指導・栄養教育の歴史	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
4.	栄養教育マネジメント 1 栄養教育マネジメントとは PDCA サイクル	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
5.	栄養教育マネジメント 2 栄養教育のためのアセスメント、情報収集の方法	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
6.	栄養教育マネジメント 3 アセスメントの種類と方法	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
7.	栄養教育マネジメント 4 健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメント①	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
8.	栄養教育マネジメント 5 健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメント②	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
9.	栄養教育マネジメント 6 栄養教育計画 プログラムの基本理論、目標設定	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	

10.	栄養教育マネジメント7 栄養教育計画 学習形態、	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)
11.	栄養教育マネジメント8 教材、食事バランスガイド等	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)
12.	栄養教育マネジメント9 栄養教育計画 プログラム作成	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)
13.	栄養教育マネジメント10 栄養教育の実施 教育実施者の技術、準備作業	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)
14.	栄養教育マネジメント11 栄養教育の評価 評価の種類、評価の質	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)
15.	栄養教育マネジメント12 栄養教育マネジメントで用いる理論やモデル	事前：テキストの指定範囲を通読しておくこと。(90分) 事後：指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・事前学習：食を取り巻く社会情勢について、日々、新聞、ニュース等から情報を得ておく。
- ・事後学習：学習内容を整理して記載し、復習を常に行ない、次週の授業に備える。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート、小テスト	授業への積極的な取り組み	
70%	20%	10%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論〔改定第5版〕	武見ゆかり、足達淑子 他 編	南江堂

参考書又は参考資料等

厚生労働省のホームページからのプリントアウト 等

その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

※成績評価について、

- ①課題は期限を守って提出する。
 - ②講義終了時に毎回、レポート又は小テストを実施する。
 - ③学期末に15回の講義日以外の日程で試験を実施する。
- ①～③を総合して習熟度を評価する。

- ・必要なものは事前に連絡をするので、忘れ物がない状態で授業には臨むこと。
- ・毎時間、必要な教材・資料として、プリント、冊子などを適宜配付するので、各自ファイリングして活用すること。

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他

授 業 科 目 名	公衆栄養学 I		
担 当 者 名	大村 美智子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1100060	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修	必修 栄養士必修 管理栄養士必修 食品衛生管理者・監視員必修
ナンバリング	DP1-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>公衆栄養学は、人間集団を観測対象とし、食べ物を主な要素とする栄養学である。ヒトの健康問題がどの因子に基づくものであるのか、その問題解決のためにはどのようにすべきかを解明して、疾病予防・健康増進を図るものである。</p> <p>日本人がかかえている疾病の多くは、栄養素の不適切な摂取が原因で起こる生活習慣病の乱れによるものが多いことから、取り巻く環境・社会・経済・文化的要因に関する情報を収集し・分析し、総合的に評価・判定する能力を養成する。また、地域公衆栄養活動を展開するうえでの理論と実際についても考察する。</p> <p>行政栄養士として公衆栄養活動に長年携わり、大規模災害の際には被災地へ派遣され、栄養確保の環境整備にも取り組んだ経験を有する教員が法に基づき、国からの通知通達で事業を展開するために常にやっている PDCA サイクルに基づいた事業ができるようにするために、グループディスカッションを取り入れながら、課題の抽出企画立案実施評価ができるようにする。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養学には基礎となる法の理解が必要となる。まず、法について理解を深めるとともに、客観的に説明できるようにする。 ・地域に根付いた集団の特性や諸問題を把握したうえ、データを用いて分析評価する方法を取得する。 ・公衆栄養プログラムを計画・実施・評価する方法を修得し企画、実践できるようにする。 		
授 業 計 画	準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習 等) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1.	オリエンテーション：この講義の目的と講義内容の紹介。学習方法について説明 公衆栄養学の概念について	事前：テキストの指定範囲（掲示）を通読しておくこと（90分） 事後：使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成すること（90分）	
2.	公衆栄養活動 ヘルスプロモーション 疾病予防のための公衆栄養活動	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読しておくこと（90分） 事後：疾病予防について、どんなものがあるのかを具体的に例示をあげてレポートを作成すること（90分）	
3.	事後学習で調べたことを発表する。 公衆栄養活動の歴史（～戦前）	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読しておくこと（90分） 事後：歴史の背景についてより詳細に調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成すること（90分）	
4.	公衆栄養活動の歴史（戦後～）	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読しておくこと（90分） 事後：歴史の背景についてより詳細に調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成すること（90分）	
5.	健康・栄養問題の現状と課題 栄養健康状態の変遷と疾病構造の変化について小グループで話し合いグループ別発表を行う	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読しておくこと（90分） 事後：学習内容に関する情報収集を行い、解釈を加えたキーワードノートを作成すること（90分）	
6.	健康・栄養問題の現状と課題 食事の変化について各自で調べ、発表を行う。	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読しておくこと（90分） 事後：学習内容に関する情報収集を行い、解釈を加えたキーワードノートを作成すること（90分）	
7.	健康・栄養問題の現状と課題	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読してお	

	食環境の変化について各自で調べ、発表を行う。	くこと (90分) 事後：学習内容に関する情報収集を行い、解釈を加えたキーワードノートを作成すること。次回確認テストを行うので、2回から7回までの復習をすること (90分)
8.	2回から7回までの内容の確認テストを行う。 フードバランスシート 食料自給率	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読しておくこと (90分) 事後：学習内容に関する情報収集を行い、解釈を加えたキーワードノートを作成すること (90分)
9.	諸外国の健康・栄養問題の現状 開発途上国の問題点について小グループで調べ、発表する。	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読しておくこと (90分) 事後：教科書に載っている練習問題をしてもらうこと (90分)
10.	家庭学習で行った練習問題について解答、説明を行うので各自で採点 諸外国の健康・栄養政策	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読しておくこと (90分) 事後：練習問題について、再確認を行う。(90分) 諸外国の政策についてどのようなものがあるか、調べる
11.	諸外国の政策についてどのようなものがあるか、調べたことを、発表する。 公衆栄養活動と関連法規	事前：テキスト指定範囲（前回授業終了時、通知）を通読しておくこと (90分) 事後：学習内容に関する情報収集を行い、解釈を加えたキーワードノートを作成すること。次回確認テストを行うので、8回から11回までの復習をすること (90分)
12.	8回から11回までの内容の確認テストを行う。 栄養士法 管理栄養士・栄養士の社会的役割	事前：テキストの指定範囲（掲示）を通読しておくこと (90分) 事後：使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成すること (90分)
13.	管理栄養士と栄養士の違いについて発表すること 地域保健法 保健所と保健センターの役割	事前：テキストの指定範囲（掲示）を通読しておくこと (90分) 事後：保健所と保健センターの役割についてより詳しく調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成すること (90分)
14.	保健所と保健センターの違いについて発表すること 母子保健法 高齢者の医療の確保に関する法律	事前：テキストの指定範囲（掲示）を通読しておくこと (90分) 事後：次回確認テストを行うので、12回から14回までの復習をすること (90分)
15.	我が国の公衆栄養活動と関連法規について発表する。 12回から14回までの内容の確認テストを行う。 まとめ	事前：公衆栄養活動と関連法規について発表できるようにわかりやすくまとめる (90分) 事後：講義全体の復習を行う (90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

キーワードノートについては9回目、14回目の講義後に提出を求める。10回目、15回目の講義時に返却する。
発表する箇所については発表できるように自分でわかりやすく発表できるように練習しておくこと。プレゼンの方法についても理解しておくこと。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	小テスト	授業中の取り組み姿勢	キーワードノートの完成度
70%	10%	10%	10%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
健康・栄養科学シリーズ 公衆栄養学「改訂第7版」	古野純典 他	南江堂

参考書又は参考資料等

・厚生労働省のホームページからのプリントアウト ・新聞

その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

机上で学んでいることが実践できた時の達成感を味わってほしい。日頃から社会情勢に関心を持ち、栄養食生活改善がどのように地域で展開されているか経験してほしい。わからないことは積極的に質問してほしい。

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他
	講義終了後の質問等対応可。

授 業 科 目 名	児童・生徒の栄養指導 I		
担 当 者 名	安倍 ちか	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1800001	授 業 形 態	講義
学 年	3	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修	栄養教諭必修
ナンバリング	K-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>本科目では、栄養教諭、行政の職務経験を有する教員が、栄養教諭制度が創設された経緯や栄養教諭の役割について社会的ニーズを踏まえて講義を進めるとともに、グループディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>子どもたちの食生活の現状は、朝食欠食、栄養の偏り、肥満、痩身傾向等、生活環境や食生活の乱れが深刻になっている。このような背景のもとに栄養教諭は、学校給食の管理と食に関する指導を一体的なものとして、栄養に関する専門性をいかに教育に生かすかという視点で教育力や食の専門性の向上を図る必要性について学ぶ。</p> <p>具体的には、児童・生徒の食に関する課題を把握するとともに、学校における食に関する指導を充実するための法的整備、学校給食を教材として活用した食に関する指導の在り方、給食時間をはじめとして関連教科、領域等、学校教育活動全体を通して食に関する指導を展開させることについてグループワーク、発表を通して理解を深める。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>1) 栄養教諭が創設された背景や制度について理解し、説明できるようになる。</p> <p>2) 児童・生徒の食に関する現状と課題について、データを用いて分析し、説明できるようになる。</p> <p>3) 学校給食を食に関する教科等の学習指導に活かすための教材研究の方法を習得することができる。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習 等) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1.	オリエンテーション／児童生徒の食生活を取り巻く現状と課題 (グループワーク)	事前：児童生徒の食に関する現状とその課題について調べる。(90分) 事後：事前学習で見出した出した課題を解決する方法を整理し、キーワードノートにまとめる。(90分)	
2.	食育基本法の施行、食育推進基本計画の決定とその経緯	事前：食育基本法の前文と総則を読む。(90分) 事後：食育基本法が制定された背景と児童・生徒の食育に関する条文をキーワードノートに整理する。(90分)	
3.	食に関する指導の必要性と意義等 (グループディスカッション)	事前：食に関する指導がなぜ必要なのかを調べる。(90分) 事後：食に関する全体計画の作成の必要性をキーワードノートに整理する。(90分)	
4.	栄養教諭制度創設の経緯 (栄養教諭制度創設に係る審議会答申、学習指導要領の改訂等)	事前：栄養教諭制度創設に係る審議会答申や学習指導要領について通読する。(90分) 事後：食に関する指導と学習指導要領との関連についてキーワードノートに整理する。(90分)	
5.	栄養教諭の職務内容、使命、役割 (学校給食の管理・食に関する指導)	事前：栄養教諭の職務についてテキストを通読する。(90分) 事後：栄養教諭に期待される役割について、授業を踏まえて自分の考えをキーワードノートにまとめる。(90分)	
6.	児童生徒の指導及び管理に係る社会的事情、児童生徒の指導及び管理に係る法令及び諸制度 (学校教育法、学校給食法、教育職員免許法等)	事前：学校給食法を読み、学校給食の目標をつかむ。(90分) 事後：学校教育法、教育職員免許法の食に係る内容についてキーワードノートに整理する。(90分)	
7.	学校給食の歴史と意義、役割等	事前：学校給食の歴史について調べる。(90分) 事後：学校給食の役割について授業を踏まえてキーワード	

		ノートに整理する。(90分)
8.	児童生徒の体位と健康	事前：学校保健統計調査より児童生徒の健康状態を把握する。(90分) 事後：授業を踏まえ、個別的相談指導が必要な児童生徒の健康上の課題をキーワードノートに整理する。(90分)
9.	児童生徒の食習慣と心と体の健康	事前：児童生徒の食習慣について国のデータ等を通読する。(90分) 事後：児童生徒の食習慣が心や体の健康に与える影響についてキーワードノートに整理する。(90分)
10.	児童生徒のエネルギー及び栄養素の摂取量	事前：学校給食摂取基準について調べる。(90分) 事後：学校給食の栄養管理のポイントについてキーワードノートに整理する。(90分)
11.	国民の栄養等に関する諸課題、法令及び諸制度	事前：国民健康栄養調査等の関連資料について通読する。(90分) 事後：国民の栄養状態の課題とその解決に向けた方法について考え、キーワードノートに整理する。(90分)
12.	食生活に関する歴史 (祖先の食生活に対する取組、知恵、工夫等) (グループディスカッション)	事前：昔の人々の食生活に関する知恵や工夫について調べる。(90分) 事後：昔に人の知恵や工夫が現代にどのように繋がり、活かされているのかを情報収集する。(90分)
13.	食事及び食物の文化的事項 (食事環境・食器具の食文化等)	事前：昔から現代までの食事環境や食器具等の変遷についてテキストを通読する。(90分) 事後：食事環境や食器具等の変遷の背景を把握する。(90分)
14.	地場産物の活用と郷土料理 (グループワーク・発表)	事前：自分の住んでいる地域の主な産物や郷土料理を調べる。(90分) 事後：グループで交流し、深めた内容についてレポートにまとめる。(90分)
15.	学校給食を生きた教材として活用する教育的効果等 (グループワーク・発表)	事前：学校給食の教材化の具体例を考え整理する。(90分) 事後：学校給食を生きた教材とした活用することの効果(よさ)についてレポートにまとめる。(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・「キーワードノート」については、紙ベース若しくはPC等を使用して作成すること。
- ・「キーワードノート」については、定期的に提出を求めするので、常に整理しておくこと。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	キーワードノートの完成度	レポートの完成度	授業への取組み
60%	20%	10%	10%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
食に関する指導の手引 ー第二次改訂版ー	文部科学省	健学社

参考書又は参考資料等

楽しい食事つながる食育 (文部科学省)

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・キーワードノートやレポートについても成績評価に関わるので、真剣に取り組むこと。
- ・グループワークやグループディスカッション等、作業に取り組む姿勢や協力態度等も評価の対象となる。

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他

授 業 科 目 名	児童・生徒の栄養指導Ⅱ		
担 当 者 名	安倍 ちか	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1800002	授 業 形 態	講義
学 年	3	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修	栄養教諭必修
ナンバリング	K-3-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「児童・生徒の栄養指導Ⅰ」の学習を基礎とし、グループ別に、児童・生徒の食の課題を考慮に入れ、これに即した指導案を計画し、実際に食に関する模擬授業を実施する。この講義では、栄養教諭としての職務経験を有する教員が学校における食育の進め方や給食時間をはじめとして食と関連のある教科等での授業の在り方など経験に基づいたアドバイスをを行い、実践性の高い授業を展開させる。具体的には、家庭科（技術・家庭科）、体育科（保健体育科）、特別活動等における授業の指導案作成から模擬授業の実践を通して、より良い指導ができるよう工夫や改善点について検討をし、指導の方法を習得する。また、食に関する特別な指導を要する個別相談指導の演習についても行う。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>1) 食に関する指導の目標を踏まえ、児童生徒の発達段階に応じた指導内容を考え、教材や媒体を作成することができるようになる。 2) 教科等における食に関する授業の指導案を作成し、模擬授業ができるようになる。 3) 食に関して課題のある児童生徒（食物アレルギー、肥満等）に対する個別相談指導の進め方を修得する。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習（予 習・復 習 等）の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1.	オリエンテーション（講義の目的、内容の説明）/ 学校における食育の推進体制とPDCAについて （グループワーク）	事前：学校における食育の推進体制についてテキストを通読する。（90分） 事後：学校における組織としての食育の推進体制について情報収集し、キーワードノートにまとめる。（90分）	
2.	食に関する指導に係る全体計画の作成とその必要性 （グループディスカッション・発表）	事前：食に関する全体計画についてテキストを通読する。（90分） 事後：食に関する全体計画の作成の仕方と内容についてキーワードノートにまとめる。（90分）	
3.	食育の推進状況に関する評価指標の設定及び食に関する指導目標の設定について	事前：食育の評価指標及び食に関する指導目標についてテキストを通読する。（90分） 事後：食育の評価についてキーワードノートにまとめる。（90分）	
4.	学習指導要領における各教科、領域等の目標と食に関する事項の内容①（総則、体育科、保健体育）	事前：食と関連のある教科等の学習指導要領を通読する。（90分） 事後：食と関連のある教科等の学習指導要領のポイントをキーワードノートに整理する。（90分）	
5.	学習指導要領における各教科、領域等の目標と食に関する事項の内容②（家庭科・技術・家庭科）	事前：食と関連のある教科等の学習指導要領を通読する。（90分） 事後：食と関連のある教科等の学習指導要領のポイントをキーワードノートに整理する。（90分）	
6.	学習指導要領における各教科、領域等の目標と食に関する事項の内容③（学級活動、給食の時間）	事前：食と関連のある教科等の学習指導要領を通読する。（90分） 事後：食と関連のある教科等の学習指導要領のポイントをキーワードノートに整理する。（90分）	
7.	児童及び生徒、保護者に対する個別的相談指導の在り方（食物アレルギー等） 学校・家庭・地域の連携した食に関する指導の在り方	事前：個別的相談指導の在り方について情報収集する。（90分） 事後：個別的相談指導における家庭、地域との連携の仕方についてキーワードノートに整理する。（90分）	

8.	学習指導案の基本と作成の手順 (グループワーク)	事前：学習指導案について情報収集する。(90分) 事後：各教科等の特質の理解を深めるため、各教科等の学習指導案の作成例について情報収集し、整理する。(90分)
9.	発達段階に応じた各教科等における食に関する指導の内容や指導方法の検討 (グループディスカッション・発表)	事前：各教科等における食に関する指導内容について、発達段階を考慮して情報収集する。(90分) 事後：各教科等における食に関する指導のポイントをキーワードノートに整理する。(90分)
10.	各教科等における食に関する学習指導案の作成	事前：食に関する教科等の授業の学習指導案の構想を練る。(90分) 事後：作成した学習指導案の付加修正を行う。(90分)
11.	模擬授業のための教材、教具の作成	事前：教材、教具の作成計画をし、必要な材料等の準備をする。(90分) 事後：発達段階に応じた教材、教具になっているか見直し、改善する。(90分)
12.	模擬授業①給食時間における食に関する指導と評価	事前：模擬授業に向けての準備 (90分) 事後：模擬授業を終えての反省 (90分)
13.	模擬授業②学級活動における食に関する指導と評価	事前：模擬授業に向けての準備 (90分) 事後：模擬授業を終えての反省 (90分)
14.	模擬授業③教科における食に関する指導と評価	事前：模擬授業に向けての準備 (90分) 事後：模擬授業を終えての反省 (90分)
15.	個別的相談指導の演習とその評価 / まとめ (ロールプレイ)	事前：個別的相談指導を行う際のカウンセリング技法について情報収集する。(90分) 事後：個別的相談指導の評価をし、今後に生かすことができるようレポートにまとめる。(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・「キーワードノート」については、紙ベース若しくはPC等を使用して作成すること。
- ・「キーワードノート」については、定期的に提出を求めるので、常に整理しておくこと。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	模擬授業	プレゼンテーション	授業への取組み姿勢・自主学習姿勢
60%	20%	10%	10%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
食に関する指導の手引 一第二次改訂版一	文部科学省	健学社
小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示)	文部科学省	東山書房
中学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示)	文部科学省	東山書房

参考書又は参考資料等

○小学生用食育教材「楽しい給食つながる食育」(文部科学省)

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・キーワードノートやレポートについても成績評価に関わるので、真剣に取り組むこと。

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他
abe8637560@knwu.ac.jp	